



# クンバイヤ

岩手県キャンプ協会 編集  
2015 第 3 号  
平成 27 年 9 月 30 日発行

## Topic

- 1 「第3回テント祭り&親子キャンプinやはば」活動報告
- 2 研修（実践交流）&忘年会のお知らせ
- 3 テント設営研修会 報告



## 「第3回テント祭り&親子キャンプinやはば」活動報告



流しそうめん 大人気！ よかった！ よかった！

～県キャンプ協会主催・やはばキャンプ愛好会共催～  
異常な暑さの続くこの夏！ 8月8日～9日「矢巾町営キャンプ場」を会場に「第3回テント祭り&親子キャンプ in やはば」を開催しました。

参加者は親子5組12名、スタッフ12名(内6名は、やはばキャンプ愛好会)総勢24名。運営上は手ごろな人数です。

スタッフは事前準備のために午前9時に集合し、県協会と矢巾町所有のテント合計10張を設営。年式とデザインが違うために少々てこずった物もありましたが、出来栄は、「テント祭り」にふさわしく各種立ち並びました。家型・ドーム型・インディアン型（とんがり帽子？）・イベント用タープ型と今風のカラフルな物とか、矢巾町のブルーの懐かしい家形とは対照的です。

開村式は午後1時40分から。テント村代表の澤村理事長の開会宣言に続き、浅沼矢巾町商工観光課長から町長代理として挨拶をいただきました。テント割り当ては、家族単位とし矢巾町のテントを活用、スタッフはお好みのテントとし分宿。

炊事隊長は小笠原副会長が担当。矢巾の女性会員3名に班長をお願いし、買い出しと仕込み担当です。夕食のメインはキャンプ定番の「特製カレーライス」。全参加者を3班に編成し女性参加者には炊事を担当して頂きました。



早めの夕食の後、キャンプファイヤーセレモニーです。矢巾町のシンボル南昌山の神が、火の神として降りてきました。（誰じゃ？）厳肅な雰囲気の中、子供たちに分火（友情、協力、努力、家族、絆）し、セレモニー手順通りに点火しました。

キャンプの歌は澤村村長がリードし、全員合唱。（かえるの歌、すいかの名産地、大きなくりの木の下で、大きな歌、ローゼンフーフーンなど）踊りは、「ジェンカ」を皆で歌いながら楽しく、何度も。子供たちは元気いっぱいでした。

矢巾温泉に入浴後の反省会は、大人だけ。静かに、しかし熱っぽく語り合いました。

2日目のメインは「流しそうめん」。前日に矢巾会員が調達し作った長さ5Mの青竹2本を使い全参加者が大騒ぎをし大量のそうめんを平らげました。炊事班も驚きです。

テント・炊事用具の撤収は全員で行い、皆が良く働き素晴らしいものでした。テントが多かったためにスタッフ一同、ヘトヘトです。

この2日間でのゲームは、ペットボトル投げ・スラックライン(目新しいぞ・難しいぞ)でした。最後に南昌山の火の神・小笠原副会長のアドリブ名言はなかなか堂に入ったものでしたぞ。日本キャンプ協会からの新タープ型2張は大いに役に立ちました。

喝采！喝采！ (川口)

### 研修(実践交流)&忘年会のお知らせ

岩手県キャンプ協会会員が様々な活動を通じ感じた事や考えたことなどの実践発表を行い、交流を深めるための研修及び忘年会を開催します。多数のご参加をお待ちしております。

日時：平成27年11月28日(土)13:30~29日(日)9:00

会場：県青少年会館(盛岡市みたけ)

内容：実践発表交流、忘年会

※問い合わせは、岩手県キャンプ協会事務局 澤村まで。

T e l & F a x 019-663-2757

E-mail ken3galiel9@pony.ocn.ne.jp

### テント設営研修会 報告

岩手県キャンプ協会には、日本キャンプ協会から多くのテントが寄贈され、大きな財産となっています。そのテントを各種事業に持ち出しする間に、備品の整理が疎かになっている現状を踏まえ、整理も兼ねてテント設営研修を行いました。

ドーム型や六角、ロッジ型や家型といったテントを広げ、破れや破損が無いか、ポールやペグの数合わせを行いながら整理しました。整理しながらの話の中で、東日本大震災の際に消防庁からテントの貸し出しについて要請があったことを知らされました。当協会では、被災地支援のボランティア活動はもちろんですが、これまでも所有するテントを被災地に贈る活動を続けてきました。今後、災害時に備え、即生活できるように、テントとシェラフや炊事用具・食器などをセットにして備えておく必要があるのではないかとのお話も出ました。

今回の研修では、普段あまり使わないテントの設営方法を再確認できたと同時に、今、県キャンプ協会に必要な備品や会員のスキル向上のために必要な研修について考える時間が持てたと感じました。

会員の皆様からのご意見がより良いキャンプを作り上げるために必要だと感じております。皆さん各種事業に積極的に参加し、楽しみながら、いざというときに役立つスキルを向上させていきましょう。(岡芹)

